



2025年

大阪・関西万博

開催期間 2025年 4月13日(日)～10月13日(月・祝)

2025年、大阪・関西万博が此花区『夢洲』で開催されます。世界を旅するような気分が味わえる海外パビリオン、未来の技術が集結した国内や企業パビリオン、様々な未来の社会を体験できる…、そんなことを想像するだけで、ワクワクドキドキがとまりません。



▲大阪・関西万博
公式Webサイト

テーマ

いのち輝く未来社会のデザイン

Designing Future Society for Our Lives

サブテーマ

いのちを救う
Saving Lives

いのちに力を与える
Empowering Lives

いのちをつなぐ
Connecting Lives

見どころ！

万博のテーマと 空と海を感じられる会場



提供:2025年日本国際博覧会協会

万博会場は四方を海に囲まれており、世界と繋がる「空」と「海」を強く感じられる場所で、万博のテーマである「つながり」を体験できます。

世界最大級の 木造建築物



提供:2025年日本国際博覧会協会

1周2kmの大屋根(リング)が、会場のシンボル。屋上は緑の丘が広がる歩道になっていて、会場全体や瀬戸内海を見渡せます。

さまざまな文化に触れる 海外パビリオン



©カナダパビリオン

万博と言えば海外パビリオン。大屋根リングの内側に3つのサブテーマ別に配置されます。多くのパビリオンが持続可能性にも配慮します。

「いのち」を考える シグネチャーパビリオン



Better Co-Being「いのちを響き合わせる」
©SANAA

テーマに掲げる「いのち」をめぐる8つの事業を各界で活躍する8人のプロデューサーが主導し、人びとにいのちを考えるきっかけを与えます。

水と空気、音楽が 織りなす水上ショー



提供:ダイキン工業・サントリーHD

大屋根(リング)内側の水面で水・空気・光・炎・映像、そして音楽が織りなすスペクタクルショーが、万博会期中毎日、日没後に公演される予定です。

未来の暮らしを 体験・参加できる



©SkyDrive

多彩なイノベーションで未来の暮らし・未来への行動を体験・参加したり、幸せの都市を体感できるパビリオンや、『空飛ぶクルマ』を体感できます！



大阪・関西万博
公式キャラクター
ミャクミャク
©Expo 2025

おしえて！ミャクミャク

Q 万博ってなに？

世界中からたくさんの人やモノが集まるイベントで、地球規模のさまざまな課題に取り組むために、世界各地からすぐれた知恵が集まる場です。5年に一度、世界のどこか1か国で開催されます。

Q 大阪での開催は何回目？

1970年に吹田市で開催された『大阪万博』、1990年に鶴見区で開催された『国際花と緑の博覧会』に続き3回目の開催となります。なお、日本での開催は2005年に開催された『愛・地球博』に続く20年ぶりとなります。